

好善社 第6回タイ国青少年ワークキャンプ募集要項

- 目的** タイ国ハンセン病療養所でのワークキャンプを通して
 - ①ハンセン病への理解を深め、好善社・チャンタミット社の働きを知る
 - ②日・タイ両国の若者同士の交流を深める
 - ③労働を通して生きる喜び、活かされる喜びを知る
 - ④療養所の住民、職員などに両社の働きへの理解を深めてもらう
 - ⑤療養所の住民から直接証言を聞く
 - ⑥ワーク内容：道路建設、植樹、住居周囲の生垣作り、高齢者住宅の清掃
- 主 題** (未定 チャンタミット社と協議中)
- 期 間** 2010年8月9日(木)～17日(木) 労働は12日(木)～15日(日)
- 実施場所** *ニコム(コロニー)・セラプーム (SP ロイエット県) タイ東北部
訪問研修先 ①ニコム・アムナーチャルン (AC アムナーチャルン県)
病院・教会・保育所見学
②ニコム・ノンソムブーン (NS コンケン県)
教会・保育所見学
③ニコム・プラサート (PS スリン県)
教会・施設見学、青年交流
④ニコム・ドンタップ (DT ジャンタブリー県)
ワークキャンプ場見学 保育所ほか
⑤ニコム・プレнкаヤン (PK ジャンタブリー県)
教会・保育所見学
- 日 程**

9日(月)	成田発 09:00頃	関空発 10:30頃～BKK 着 15:30～	TG	ホソへ	ホソ泊
10日(火)	事前研修	アムナーチャルン見学	車でノンソムブーンへ	交流	コンケン泊
11日(水)		午後セラプームに入る		準備作業に加わる	SP泊
12日(木)	準備	開会礼拝	ワーク		SP泊
13日(金)	ワーク				SP泊
14日(土)	ワーク			Chiba 夕食	SP泊
15日(日)	ワーク	閉会礼拝	(Chiba と)車でソソへ		ソソ泊
16日(月)	PS 見学	車で PD・PK 見学			ジャンタブリー泊
17日(火)	BKK 発	午後便 関空・成田		成田・関空着夕～夜着	
- 指 導 者**

日本側 総リーダー：三吉信彦 (好善社理事、教団・千葉教会牧師)
ワーク長：岡田祐之 (好善社社員、関学職員)
通訳・ガイド：阿部春代 (好善社社員、千葉教会員・看護師) 健康管理
チャプレン：未定
- 募集対象** 15才以上の男女 15名
 - *キリスト教会、キリスト教主義学校に通っている者
 - *日本国内ハンセン病療養所を訪問したことがある者 (未経験者には事前に機会を設ける)
 - *事前説明会に必ず出席し、面談を受ける (遠隔者には別途方法を考える)
- 参加費** 10万円 (およそ日タイ往復航空券代)
 - ・タイ国内滞在費及び傷害保険代約3～4万円は好善社が奨学金として負担する
- 募集の締切** 5月末(割安航空券を確保するために、参加を決めたらすぐ申し込んでほしい)
- 説明会** (申し込み受付終了後に日時を調整する)

関係各位

社団法人「好善社」理事長 棟居 勇
同 タイ国担当理事 三吉信彦

主の御名を崇めます。

いつも私たち好善社の活動にご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

さて、私たちはこの夏も「タイ国青少年ワークキャンプ」を実施いたします。この企画にご賛同いただき、関係の高校生、大学生をぜひご紹介いただきたく、ご案内申し上げます。

好善社は、これまでずっとハンセン病を病んだ方々やその療養所と関わってきました。戦前は専門療養病院「慰廢園」の運営、また戦後は療養所教会に会堂を寄贈したり、「長島聖書学舎」を建てて伝道者の養成に携わりました。そしてそれぞれの療養所で「学生社会人ワークキャンプ」を延べ60回実施して、日本のハンセン病についての啓発活動に尽力してまいりました。1980年代に入ってから、タイ国のハンセン病対策に協力し、キリスト教支援団体「チャンタミット社」の設立、運営を側面から支援してきました。今は療養所内の子どもたちに奨学金を送る事業にも関わっています。当社の社員、阿部春代看護師を派遣して、セルフケアクリニックの支援活動を展開、20年になります。

そういう働きの一環として、私たちは高校生を含めた「青少年ワークキャンプ」を始めました。この企画は、日本の青少年とタイ国の療養所で育った青少年たちが協力して、一緒にワークをしようというものです。これまでドラゴンフルーツを植え、その広い畑にフェンスを巡らす作業、療養所内にコンクリートの道路を敷設することなど、結構ハードなものです。

また近年はこれまでの活動が療養所の行政側からも理解、評価され、昨年来、ワークの内容を行政側から要請されるようになりました。排水工事、植樹、公園造り、住民家屋の清掃など、直接住民の生活に関わる労働内容でした。タイ国は仏教国でキリスト教は人口比1%に満たない中で、これまでチャンタミット社が長年、地域で粘り強く活動してきたことが、住民のみならず行政施設にも認められた証です。神さまのお導きと心から感謝し、喜んでいきます。

参加した青少年は、タイの農村部の豊かな自然、タイ人少年少女の明るさ、素直さ、くっつくなさに心を開き、激しい労働にも目を輝かせて取り組む。ワーク前とは見違えるように変わって行くのが分かります。これまで5回の全部に参加した者、4回目、3回目も多く、リピーターが多いのも、このワークが若者の心を捉えている証拠です。やはり、青少年にはこういう機会を提供することが、学校や教会の大事な役割であることを痛感している次第です。

幸い私たち好善社には「チャンタミット社」という堅実な受け入れ団体との交流があります。また、同国の諸事情に精通した阿部看護師（好善社社員・千葉教会員）がいます。通訳と健康管理を全面的に引き受け、安全にも気を配ってくれます。

今回のワークキャンプは、タイ国東北部の貧しい農村地帯にあるニコム・セラプームです。20数年前にチャンタミット社が活動を展開し始めた最初のハンセン病コロニーの一つで、プータイ・サムリー夫妻がずっと伝道、牧会、教育活動に関わっておられます。

以上、簡単にワークキャンプの趣旨を記しました。どうか、この企画にご賛同いただき、ぜひ関係の青少年に呼びかけていただきたく、お願い申し上げます。不明な点は、ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。よろしく願い申し上げます。

主にありて

2010年 5月9日

連絡先 三吉信彦（好善社理事・日本キリスト教団千葉教会牧師）

〒260-0855 千葉市中央区市場町9-20 TEL043-222-4475 Fax 043-224-5620

メールアドレス nob-mys@mbr.ocn.ne.jp